

川崎市こども医療費助成制度拡充 陳情の趣旨採択を歓迎し、早期実現を望む

7月24日(木)、川崎市議会文教委員会にて川崎市の小児医療費助成制度の拡充を求める陳情が趣旨採択された。趣旨採択とは、陳情の内容には賛同するものの、すぐに実行することが難しいケースで行われることが多いもの。川崎市内の開業医・開業歯科医や保護者らで組織する「川崎市こどもの医療費無料化を求める連絡会(川崎こども連絡会)」はこの間、川崎市の小児医療費助成制度の「一部負担金500円の撤廃」と「対象年齢18才までの引き上げ」の2点を求めて陳情署名の集約に取り組んでおり、この訴えが川崎市議会で認められた形だ。

川崎こども連絡会は1993年5月の発足以来、請願・陳情署名の集約や議員懇談、川崎市長に宛てた肉筆コメント「私のひとことカード」の集約などの活動を通して、川崎市へ小児医療費助成制度拡充の必要性を求め続けてきた。今回「一部負担金500円の撤廃」を含む陳情が趣旨採択されたことは、長年にわたる当連絡会の活動と、川崎市民の思いが結実したものと考えており、心より歓迎するとともに、趣旨採択という結論を出した文教委員会に深く御礼申し上げたい。

8月3日(日)に投開票があった横浜市長選では、「18才までのこども医療費無償化」を公約に掲げた現職の山中竹春氏が圧勝した。今後横浜では、小児医療費助成制度がさらに拡充されることが期待できる。

我々は今後も趣旨採択された陳情の早期実現を求め、川崎市に働きかけを行っていく所存である。

2025年8月6日

川崎市こどもの医療費無料化を求める連絡会